

情報学委員会 デジタル社会を支える安全安心技術分科会(第25期・第1回)  
議事要旨

日時：令和3年1月13日(水) 10:30～12:00

場所：Zoomによる遠隔会議

出席者(敬称略)：岩村，佐古，佐藤，柴山，高木，高田，松浦，宮地

オブザーバ(敬称略)：澤芳樹(大阪大学)，中尾彰宏(東京大学)

配布資料：

資料1-1 学術会議・情報学委員会・安全安心分科会活動履歴

資料1-2 第25期デジタル社会を支える安全安心技術

議事に先立ち，分科会委員の過半数が出席していることが確認された。

1. 委員長を選出

高田委員から宮地委員を委員長に推薦したい旨の発言があり，出席委員の挙手を求めたところ，過半数の賛成があり，宮地委員を委員長に選出した。

2. 副委員長，幹事の決定

宮地委員長から，副委員長を高田委員に，幹事を松浦委員と岩村委員に依頼したい旨発言があり，3委員から受託する旨の発言があった。

3. これまでの活動報告(第20期～第24期の振り返り)(資料1-1)

宮地委員長から，資料1-1に基づいて，本分科会の前身となる第20期以降の分科会の活動について紹介があった。

4. 第25期の活動内容(資料1-2)

宮地委員長から，資料1-2に基づいて，本分科会の活動内容として，新たな

デジタル社会システム浸透の過程を明確にする提言とシンポジウム，第 24 期の継続活動としてサイバーセキュリティ研究における法的・倫理的問題に関する提言の検討について説明があった。

これに関連して，宮地委員長から，本分科会の委員に，馬奈木俊介氏（第 1 部会員），澤芳樹氏（第 2 部委員），木村通男氏（第 2 部委員），中尾彰宏氏（第 3 部連携会員）の 4 氏を追加したい旨の発言があり，承認された。

活動内容に関して，以下の意見があった。

#### 4-1 デジタル社会の普及への過程の明確化について

医療のデジタル化について抑制と促進の観点は重要。

抑制と促進という分け方は情報学以外の分野では観点が違う場合もある。

2 軸として，脅威と恩恵という区分けを当初考えていた。

デジタル社会の具体的な脅威（プライバシー問題など）の明確化が重要。

医療以外の分野として金融が考えられる。

#### 4-2 サイバーセキュリティ研究倫理について

24 期にインプットされたサイバーセキュリティの範囲で検討するのがよいのではないか。

### 5. 委員の自己紹介

この時点で出席していた岩村委員，佐古委員，柴山委員，高田委員，松浦委員，宮地委員，オブザーバの澤芳樹氏，中尾彰宏氏から自己紹介をいただいた。また，宮地委員長から，本分科会に参加いただく木村通男氏と馬奈木俊介氏の紹介があった。

### 6. 議事要旨の提出に関する委員長一任について

本分科会の議事要旨については，案を委員に回覧し，委員から意見をいただいた上，修正については委員長に一任することとなった。

### 7. 分科会委員間のメールアドレス共有について

分科会の委員間でメールアドレスを共有することが承認された。欠席委員で，

メールアドレスの共有が不都合な方がいれば、事務局に申し出ることになった。  
また、Slack 上に分科会のためのスペースを設けることが承認された。

#### 8. 今後の予定について

第 25 期の中に 11 回の会議を予定している。次回の分科会は、3 月～4 月に開催する予定である。

#### 9. その他

特になし

以上